（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナーシングデイこすもす			
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日	～	令和8年1月13日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	13人	（回答者数）	9人
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日	～	令和8年1月13日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	13人	（回答者数）	13人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	＜有資格者が多く専門的知識がある＞ ・看護師が多く医療依存度の多い利用者を受け入れている ・各職種の専門性を生かしながら協力して支援を行っている ・職員が多く利用者対応がていねいで1日のスケジュールが充実している	・医療依存度の高い利用者の安全を守るために、個々の緊急時フローチャートを作成。緊急時には対応ができるように準備を行っている。 ・医療処置などの変更時はすぐに保護者に確認をして迅速に対応している ・カーデックス等の見直しを定期的に行っている	・各自で参加した研修の伝達講習の実施
2	＜利用者・職員が事業所内または車内で安全に過ごせるための取組ができる＞ ・看護師を中心にチームを組んで適切な感染対策や災害対策、避難訓練を行っている	・利用者、職員が安全に過ごすために必要な物品（エアドッグ、ポータブル充電池、防災グッズなど）を装備している ・緊急時の家族間連絡はマチコミとラインを併用している	・防犯対策マニュアルや訓練の実施 ・送迎用携帯に送迎ルートや避難所情報をまとめる
3	＜活動の提供と家族との情報共有＞ ・提供するサービスの質は保たれている（特定のスタッフが不在だとできないetcは特にない） ・利用時間が少ない放デイでも入浴、療育と時間調整を行い実施している　生活介護では近隣におでかけを実施している ・保護者に向けて児の様子や活動の様子を伝えている ・楽しい活動をたくさんしていること ・ていねいな関り、支援ができている	・カーデックスの充実・処置などの方法の確実な伝達 ・デイでの過ごし方や活動を知ってもらうためブログ、マチコミ、玄関の壁を活用した写真掲載、機関紙そよかぜの作成などでの情報公開 ・それぞれの活動チームが計画をたてて実行している（おでかけや季節の行事など）	インスタグラムの活用をし、リアルタイムな情報発信と広い範囲への周知
4			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	＜外部との交流の機会がない＞ ・家族支援（保護者会、参観日など）きょうだい支援、地域との交流がない ・ボランティアの受け入れが少ない・	・複数の事業を運営しているので日中に時間がとれない ・時間調整困難 ・時間、スペース、人員確保が難しい ・利用者の多くが抵抗力が弱く易感染性の方。不特定多数の人との交流は慎重にならざるを得ない。	・季節の行事などの活動に合わせて保護者の方に参観してもらえる機会を設ける。または「自由参観週間」として保護者の方に自由に訪れていただく機会を設ける ・他事業所や療育園などとの交流　こちらからも出向いてみる
2	＜支援の共有、方向性がみえにくい＞ ・個別支援計画の周知が難しい ・共通したアセスメントツールの利用がすすまない	・現状の把握の共有ができていない（ここまでできる、この動きは得意だけどここは苦手）など個別の「今の姿」の共有ができていないため、今後の方針に取り入れにくい ・時間調整困難	・こすもす会議で計画評価と合わせて、今後の支援の方向性も一緒に話す時間を設ける。共通認識が必要
3	＜フロアが狭い＞ ・利用人数によっては狭く感じる ・ワンフロアのため生活空間が区切りにくい	・ハード面の改善は困難 ・4つの事業を展開しているため1日通じてフロア内に常に利用者さんがいる	・整理整頓で空間作り　物品は所定の位置に収納する